

ジェスチャーで伝えよう

— 体を使って表そう —

- ねらい
- 作品の特徴（形、動き、構図など）をとらえる。
 - 作品のイメージを、体を使って表現することを楽しむ。
- 準備物
- <アートカードみえⅠ>または<アートカードみえⅡ>をグループ数分と前で使う分1セット
 - <アートカードみえⅠ>または<アートカードみえⅡ>作品一覧をグループ数分
- 場の設定
- 1グループ4人程度
- 評価
- ゲームを楽しむことができたか。（関心）
 - 作品の特徴をとらえることができたか。（鑑賞）
 - 工夫して表現することができたか。（鑑賞・表現）

ジェスチャーで伝えよう

— 体を使って表そう —

★授業展開の例★

学習活動	指導のポイント
<ul style="list-style-type: none">●アートカードで「ジェスチャーで伝えよう」をすることを知る。 ●グループで、表現するアートカードを選び、ジェスチャーの方法を話し合う。 ●ジェスチャーをする。 ●感想をワークシートに書く。<ul style="list-style-type: none">・工夫したのはどんなところか・よかったと思うグループはどこか ●後片付けをする。	<ul style="list-style-type: none">・グループでアートカードの特徴をとらえたジェスチャーを行い、その作品をあてるゲームであることを知る。 ・子どもに好きなカードを選ばせてもよいし、教師がある程度カードを選んでおいてもよい。・学年や子どもの様子によって、グループ全員がジェスチャーに参加しなければならないなどの指定を加えてもよい。・イメージを表すためには、形だけでなく、動きや音を入れることも考えられる。 ・1グループずつ披露し、他のグループはこれだと思ふ作品のカードを選ぶ。 <p>○カードは上下（裏表のシール位置）の向きをそろえ、番号順に並べて返却させる。</p>